

# 旭川医大の協力を受け

市内小・  
中学校で

## 耳鼻咽喉科検診実施

### 18年度 約3分の1が要受診、要経過観察

市 教 委

市教委は十九、二十日の二日間、旭川医科大学の協力の下で、市内全小中学校の児童生徒を対象に耳鼻咽喉科検診を実施した。旭医大の協力は平成十二年度から毎年続けられ、今年も派遣された三人の専門医が各校を巡回して検診した。

市教委は根室市医師団、根室歯学会、根室市立病院、根室学校薬剤師会ら各医療機関の協力の下、児童生徒の定期健康診断を行って

のほか経過観察が必要な児童生徒は毎年受診している。

昨年年度は、受診した小中学生六百三十五人のうち、病院での診察を求めた要受診者が百八十九人(小学生

耳鼻咽喉科検診は、専門医不足から長い間実施できずにいたが、平成十二年度から旭医大の派遣医師の協力で市内全校を巡回している。

同検診は小学四年生と中学三年生を対象に実施、こ

今年度は、受診した小中学生六百三十五人のうち、病院での診察を求めた要受診者が百八十九人(小学生百七人、中学生八十二人)、要経過観察者が十四人(小学生四人、中学生十人)で、病気の早期発見につなげている。

今年度の検診は十九日に八校、二十日は十一校で行

われ、二日間で六百十九人の児童生徒が受診した。同医大耳鼻咽喉科の林達成医師、上田征吾医師、高林宏輔医師の三人が、それぞれに声を掛けながら鼓膜や喉の様子、鼻のつまり具合などを丁寧に検診した。

(須貝)

耳鼻咽喉科検診を受ける児童  
川成栄小

